

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

5-III-2

5-III
-2

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	ジオパークやジラスとの連携	
	節	Ⅲ. 佐渡金銀山・関連地域資源を活用した島内及び全県的な魅力の発信			
		事業(施策)名	2 佐渡3資産情報発信広域連携	事業主体	佐渡市観光振興課
				関連団体	県観光企画課、新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光交流推進課、県観光協会、佐渡観光交流機構
事業実施期間	H28～R4				
事業計画	【事業目的】	○世界遺産に加え、ジオパークやジラス等関連地域資源を活用した複合的な魅力発信により、効果的な誘客を図る。			
	【事業内容】	○ホームページや観光パンフレット、新聞、雑誌等各種広報媒体において、世界遺産のみならず、ジオパークやジラスのPRも複合的にを行い、誘客効果の拡大を図る。			
③0 事業計画と実績	【30年度計画】	●県内3ジオパーク(糸魚川市、津南町、佐渡市)連携で教育旅行誘致に向けた活動を計画する。 ●ホームページ、パンフレットによる情報発信を行う。			
	【30年度実績】	●県内3ジオパークが連携したモニターツアーを実施した。 ●ホームページ、パンフレットによる情報発信を行った。			
課題・今後の取組	【課題】	■佐渡金銀山がジオパークと世界農業遺産とどう関連しているか島民にも理解が進んでいないことから、関連性を簡潔明瞭に語るができるストーリー作りが必要である。			
	【今後の取組】	■佐渡金銀山との関連性を簡潔明瞭にしたストーリーを構築し、佐渡の代表的な3つの観光資源を突破口とした誘客促進の取り組み推進する。			
事業評価	【事業の達成度】	◇計画に基づき、県内3ジオパークモニターツアーを実施したことから、Bとした。 [a ○ b ・ c]			
	【事業実施の効果】	[a ○ b ・ c]			
	【総合評価】	[A ○ B ・ C]			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。